



自主防災組織で地域を守る

自主防災組織とは、地域の皆さんが災害に対して協力しあう組織です。
自主防災組織を結成し、地域防災活動を行うことで災害に強いまちづくりを目指しましょう。

平常時の活動

作ろう、参加しよう、育てよう！

隣近所や行政区などで、互いに助け合い
協力し合える体制づくりをしましょう。



みんなで学ぼう！

- 防災に関心を持ち、防災に関する知識を身につけましょう。
- 災害が起こったときに予想される事態や対応について話し合しましょう。



地域を点検しよう！

- 避難場所を皆さんが知っていますか？
- 避難経路に危険な場所はありませんか？



訓練をしよう！

- 初期消火訓練
- 避難所の開設・運営訓練
- 避難者の誘導訓練



災害時の活動

初期消火活動

身の安全を第一に考え
消火器などを用いた初期消火の実施

避難誘導支援

高齢者や障がいをお持ちの人などへの
避難誘導を支援

救出・救護活動

まず身の安全を確保し、その後被災者の
救出や救護活動を支援

情報の収集・伝達

災害に関する正しい情報を収集伝達し、
支援活動などを実施

避難所の支援

水や食料などの配給支援や炊き出しなど
の活動支援

災害時に特別な配慮を要する人への支援

高齢者や障がいのある人など災害時において特に配慮を要する人は、地域のみなさんの支援が必要です。

高齢者・病気の人

- 背負う(または担架、リアカーなどを利用する)などして安全な場所まで避難しましょう。
- 複数の介助者で対応しましょう。



車いすを利用している人

- どのように介助したらいいか、本人に確認しましょう。
- 階段では2人以上が必要です。上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動しましょう。



目の不自由な人

- 声をかけ、情報を伝えましょう。
- 誘導する場合は、杖を持った人の手には触れず、ひじのあたりを軽く持ってもらい、半歩前をゆっくり歩きましょう。



耳の不自由な人

- 話すときは、口をハッキリと開け相手にわかりやすいようにしましょう。
- 手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝えましょう。

